



年少日より

ほほえみ

担任 中村 孝枝

皆で植えたプランターのオクラの実がなりました。「へー。こんな風に花が咲いて実がなるんだ。」初めて栽培した担任も心躍らせています。先日は皆でジャガイモを掘り、さつまいもの苗を植えました。はとさんが育てているトマト、さやえんどうの味は甘くて格別でした。野菜嫌いな子も「みんなで食べてみたらおいしかった。」という経験をし、成長しています。そして今はひばりさんが蒔いた畑の枝豆ととうもろこしの生長を楽しみにしています。

暑さに負けず元気です

先月は梅雨前からも気温、湿度が高く一気に水が気持ち良い季節になりました。他の学年は植物を使った色水遊びを展開していましたが、年少児には簡単に楽しめる絵の具を使った色水遊びの道具を用意しました。ペットボトルに入れた水を一気に出したり、容器から容器へ移し替えたり、じょうごを使って流し入れたりと繰り返し楽しんでいました。毎回2色の絵の具を用意することで「あれ？赤と白がピンクになっちゃった。」「茶色が水をいっぱい入れたらオレンジジュースになったよ。」と子どもたちなりに混ぜた時の色の変化に気づき不思議を体感していました。

水遊びの後には、水浸しになった土でドロドロ遊びです。水とは違った感触を体感していました。子ども達の遊びはまだまだ続きます。泥んこ遊びがひと段落すると今度は園庭へと飛び出し元気よく走り回ったり、土山に駆け上ったりしながらなんだか楽し気です。一人が山のてっぺんに上って後ろから上って来た子がその子を押すと押された子が山を下っていきます。そして反対側から山に登り、てっぺんにいる子の背中を押す。そんな遊びをエンドレスで続けていました。3歳って不思議で素敵！友達と言葉も交わさずフィーリングだけで楽しいゲームを作り出し遊ぶことができるのですから。そんな楽しい遊び作りは室内でも展開されています。毎日大汗をかきながら、大満足で遊んでいるつばめ組です。

7月のねらい

- 自分の好きな遊びを十分に楽しみながら、友達のしていることに興味をもつ。
- 保育者や友達と一緒に夏の遊びを楽しむ。



プールが始まります

夏の日差しが強い日は、水を使った遊びが心地よいですね。水遊びは、水に親しんでいく姿が一人一人違います。着替えの手順や、取り組むようすを丁寧に把握し、徐々に水なれができるように支援したり、楽しい遊びを用意したりしていきます。健康・安全に十分配慮して取り組みたいと思います。ご家庭でも、体調管理をよろしくお願いします。

夏休み

1学期の間使用してきたロッカーや下駄箱を掃除したり、整理したりします。また、夏休みの過ごし方を話し、規則正しい生活やお手伝い、約束事などを確認し意識をもたせます。夏休みは、親子でふれあいながらいろいろなことに取り組めるいいチャンスです。健康に留意して、楽しい夏休みをお過ごしください。

